

## 牛ウイルス性下痢・粘膜病を 予防しましょう！

### 牛ウイルス性下痢・粘膜病とは

牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）は、ウイルスによる感染症で、感染牛は下痢や呼吸器症状を示します。

また、**妊娠牛**が感染すると流死産したり、ウイルスを排出する**持続感染牛（PI牛）**が生まれることがあります。



BVD-MDによる呼吸器症状  
PI牛は鼻汁等の中に  
ウイルスを排出します。  
(出典：家畜疾病カラーアトラス)

### 持続感染牛（PI牛）とは

- 1 外見的には異常がなくても、生涯にわたってウイルスを排出し、**感染源**となる牛のことです。
- 2 **胎齢約18～125日齢**で本病ウイルスに感染するとPI牛となって生まれる可能性があります。

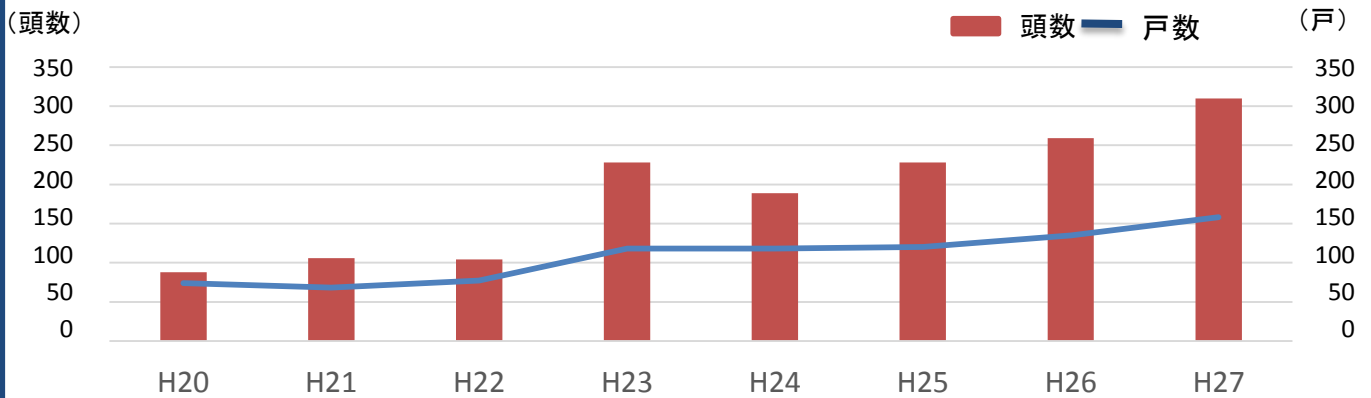
飼養している家畜に異状がみられた場合には、直ちに獣医師または家畜保健衛生所に連絡してください。

三八地域県民局地域農林水産部 八戸家畜保健衛生所

TEL：0178-27-7415 FAX：0178-27-7418

土日祝祭日の場合は、家保携帯 090-7069-7714

# 牛ウイルス性下痢・粘膜病の発生状況（国内）



国内の発生頭数は増加傾向で、平成20年は88頭だったが、平成27年は310頭と、3倍以上になっています。

## 予防対策

### 1 ウイルスの侵入防止

牛を導入した時は隔離飼養し、本病検査に努めましょう。

また、消毒等の飼養衛生管理基準を遵守することが重要です。



隔離牛舎にも消毒槽を設置

### 2 PI牛の早期淘汰

PI牛に対する治療法はありません。PI牛が確認された場合は速やかに自主とう汰を行い、感染の広がりを防止しましょう。

### 3 ワクチン接種の励行

感染予防及びPI牛の産出のリスク低減のため、ワクチンを接種しましょう。なお、妊娠牛に接種する場合は、生ワクチンを使用すると出生子牛がPI牛となる可能性があるため、不活化ワクチンを使用してください。